

寄せられた意見を踏まえた技術的検討及び
意見への対応について
(技術的観点に基づく総括)

平成29年11月15日
沖縄県

1 寄せられた意見を踏まえた技術的検討及び意見への対応方法について

【手順1】

寄せられた意見に対し、どの委員会で検討を行うのか、意見の内容毎に整理を行う

寄せられた意見を踏まえた検討・意見への対応を行う委員会		
技術検討委員会	計画検討委員会	プロセス運営委員会

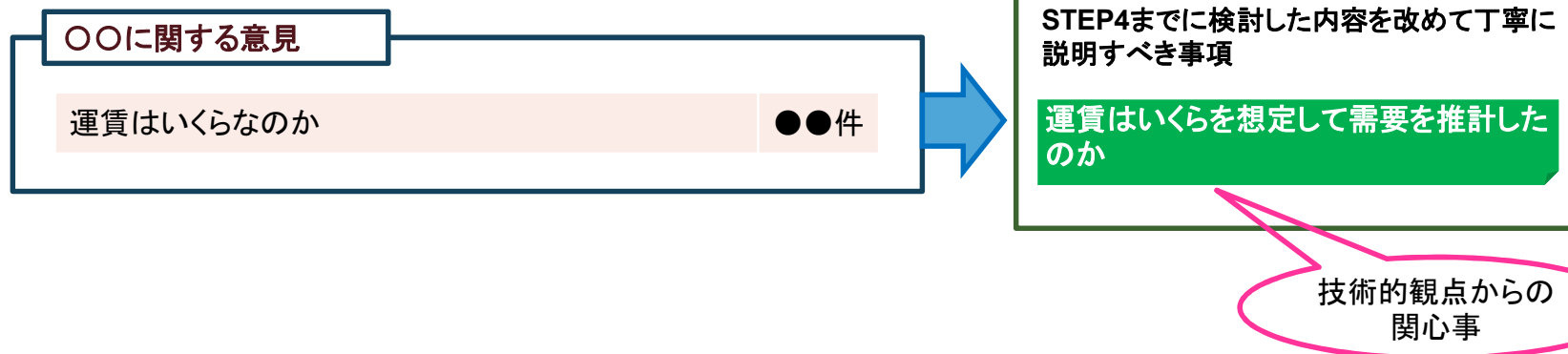
← 該当する委員会に○を記載

【手順2】

寄せられた意見から、検討結果の内容の確認に関する事項(疑問や懸念、質問等)を抽出し、これらを下記3つに分類して、下記視点に基づき、資料5-2にて、意見毎に個別に検討・説明を行うものとする。

- STEP4までに検討した内容を改めて丁寧に説明すべき事項
- 計画段階以降に検討すべき課題
- STEP4において改めて検討すべき事項

※意見から関心事を抽出する過程(イメージ)



【手順3】

意見への個別対応等も踏まえ、技術的観点からステップ4の検討についての総括を行う。

2 比較評価結果に関する意見について

2-1 比較評価結果に関する意見への各委員会での対応について

意見の概要		寄せられた意見を踏まえた 検討・意見への対応を行う委員会		
		技術検討 委員会	計画検討 委員会	プロセス運営 委員会
比較対象に関する意見		○	○	
比較評価結果全体に関する意見				○
対策案に期待する 効果・影響に関する 意見	県土の均衡ある発展に関する意見			
	県民等の移動利便性向上及び世界水準の観光リゾート地の形成に関する意見			
	中南部都市圏の交通渋滞緩和に関する意見			
	まちづくりに関する意見			
対策案検討にあたり 配慮・留意を求め る意見	構造・導入空間に関する意見			
	需要の確保に関する意見	○	○	
	採算性の確保に関する意見			
	費用対効果に関する意見			
	事業費及び工期に関する意見			
	地形・地盤、自動車交通への影響、耐災害性に関する意見 自然環境、騒音・振動、景観、CO2削減に関する意見			
ルート選定に関する意見			○	○
比較結果に関する 質問・疑問に関する 意見	比較評価結果全体に関する質問・疑問			
	構造に関する質問・疑問			
	事業の効果・影響に関する質問・疑問	○	○	
	採算性分析に関する質問・疑問			
	費用便益分析に関する質問・疑問			
	事業性に関する質問・疑問			
基幹軸の整備に関する意見		○	○	2

2-2 比較評価結果に関する意見の概要及び意見を踏まえた技術的検討・意見への対応について

比較対象に関する意見

(1) 選択肢(ルート)が多すぎて比べにくい、絞って提示したほうが良いとする意見	36件
(2) 造らないという選択肢が検討に含まれていない、含めるべきではないか、導入ありきではないかとする意見	10件
(3) いろんな案があり良かった、このルート案で良いとする意見	23件
(4) ルート案について、経路地等がどうやって決まったかわからない、現況の渋滞等状況も踏まえたものとなっているのか	8件
(5) ゆいレール延長事業との違いがわからないとする意見	33件
(6) 採算性が確保できない案は検討から外すべきではないか	24件

STEP4までに検討した内容を改めて丁寧に説明すべき事項

(1)比較対象はどのように設定したのか

比較評価結果全体に関する意見

(7) 良いと思う、いずれの案も良い、良い案、特定の項目について良いとする意見	1,299件
(8) 各案の特徴がわかりづらい、どれが有力なのかかわからない、同じに見える、差が無い、各案のメリットやデメリットがわからないとする意見	124件
(9) 様々な項目に基づく評価がなされているとする、データが整理されており、きめ細かい検討・分析がなされているとする意見	93件
(10) わかりやすい、理解できた、特定の項目についてわかりやすかった、理解できた、~だとわかった。いろいろ課題があることがわかった等、内容の理解度に関する意見	240件
(県民会議共通意見)	
(11) 鉄軌道の利用者数は、国道58号ケースよりも国道330号ケースの方が多くことに気づいた。	1件
(12) C案及びC派生案が、他ルート案よりも採算性が良いことが分かった。 など	1件
(13) 全ての案、特定の案を良いとする、どれでも良いとする意見	1,872件
(14) 全ての案、特定の案を否定する意見	77件
(15) 評価結果を確認することができてよかった、参考になった、興味を持った、勉強になったとする意見	26件
(16) いずれの案も一長一短ある、しっかりデメリット、メリットを考慮する必要があるとする意見	49件
(17) 実現させるのは苦しい、難しいとする意見 など	30件

評価結果の内容・理解度に関する意見

評価結果及び評価結果を踏まえたルート案に対する個人的意見

対策案に期待する効果・影響に関する意見

1. 県土の均衡ある発展に関する意見

(18) 沖縄や子ども達の将来のため、沖縄の発展、自立型経済の構築、経済振興・雇用拡大、豊かな生活等の幅広い観点から導入を求める、様々な効果に資する、期待する、期待するルートにしてほしいとする意見	331件
(19) 外国人を含め観光客が増加するなど観光振興が期待できる、観光振興に資するルートにしてほしいとする意見	192件
(20) 沖縄の全ての地域の活性化、地域の活性化、人口分散による県土の均衡・総合的発展に資するルート、全ての地域が利便性を享受できるようにしてほしいとする意見	98件
(21) 特定の市町村、衰退している市街地の活性化、過疎地の活性化、北部や東海岸といった開発が遅れている地域の活性化に資するルートを求める、地域格差が大きくならないよう配慮を求める意見	275件
(22) 開発が遅れている地域の今後の開発ポテンシャルを考慮した検討を行うべき、そのようなルートとすべきとする意見	26件
(23) ルートから外れた地域への影響が懸念される、すべての地域が利便性を享受できるよう取り組みを行ってほしいとする意見、また、ルートから外れた地域の交通の便の改善や活性化を求める意見	101件
(24) 人口の分散化等による地域活性化、居住地の選択拡大、生活圏の拡大、過疎化の解消、県土の均衡ある発展が期待できるとする意見 (関係機関等意見交換会意見)	66件
(25) 鉄軌道の導入によって三世代と一緒に暮らせる県民の幸せや豊かさ、観光客が移住したいと思う希望など、夢を広げるような説明が必要である。	1件
(26) 通勤・通学が楽になる、無理なく通えるようになる、通勤・通学圏が広がる、職業や学校の選択肢が広がる、教育環境の格差是正等に資するとする意見 (関係機関等意見交換会意見)	125件
(27) 北部の子どもたちが那覇の高校に進学する場合は、下宿しなければならない現状である。名護から那覇へ1時間という速達性を確保し、通学可能として欲しい。	1件
(28) 通勤圏等の拡大による北部の過疎化対策、北部への交流人口の増、北部の活性化が期待できるとする意見	54件
(29) 中南部と北部間の交流が容易にできるようになる、北部等遠くに住んでいる親戚や友人等にも会いやすくなる、遠くにも行きやすくなる、人的交流が促進されるとする意見	192件
(30) 那覇～名護を1時間以内で結んでほしい、短い時間で結べるようにしてほしいとする意見	72件
(31) 那覇と名護を結んでほしい、北部まで結んでほしいとする意見	157件
(32) 県経済の活性化、地域の活性化、本県の振興には資さない、疑問とする意見	12件
(33) 鉄軌道を導入することによるストロー現象、北部の衰退が懸念される、北部の活性化には資さない、資するか疑問とする意見	31件
(34) 那覇～名護を1時間で結ぶ必要は無いのではないか、スピードを重視する必要は無いのではないか、ゆったりとした移動を可能とする方が良いのではないかとする意見	22件
(35) 名護までは要らない、沖縄市等までで良い、うるま等～名護は需要が少ないため要らないのではないか、需要のあるところに絞って検討した方が良いとする意見	88件

STEP4までに検討した内容を改めて丁寧の説明すべき事項

(2)鉄軌道の導入により、以下の効果は期待できるのか、又は負の影響は生じないのか

・沖縄の経済・観光振興等に資するのか

・全ての地域において利便性を享受することが可能なのか

・那覇と名護を1時間で結ぶことにより、広域的地域圏の形成及び交流拡大に資することは可能か

・ストロー現象は生じないのか、どう対応していくのか

対策案に期待する効果・影響に関する意見

2. 県民及び観光客の移動利便性向上及び世界水準の観光リゾート地の形成に関する意見

(36) 高齢者等交通弱者や自動車を持っていない人にとって便利になる、気軽に外出できるようになる、車を運転することができない観光客にとっても便利になるとする意見	529件
(37) 移動が便利・楽になる、行動範囲が広がる、移動手段が増えることにより便利になる、いろいろなところに行きやすくなるとする意見	1,213件
(38) 県民や観光客、いずれにも便利なルートにしてほしい、高齢者や自動車を持ってない、持っていない方々みんなにとって利用しやすいルートにしてほしいとする意見	219件
(39) 県民に利用しやすいものにしてほしい、観光客より地元、県民を重視して検討してほしいとする意見	182件
(40) 観光客が、特に外国人にとっては観光しやすくなる、増加する観光客に対するするためには必要とする意見	238件
(41) 観光客が移動しやすい、観光地にアクセスしやすいルートにしてほしい、観光客のニーズに沿ったルートにしてほしいとする意見	233件
(42) 提示したルート案について、自分自身にとって良く行く場所、自分が住んでいる地域、小学校や病院、特定の商業施設、特定の地域を経由してほしいとする意見	993件
(43) 高速道路等高規格道路とかぶらないルートを求める、国道58号又は高速道路等がある地域は既に便利なので、それ以外の交通の便が悪い地域に通すべきとする意見	100件
(44) ゆいレールが通っているところは外すべき、北部や東海岸等バス路線が不十分、交通が脆弱な地域に通すべきとする意見	107件
(45) 東西横断・連携が可能なルートにしてほしいとする意見	36件
(46) 定時性の確保を求める、時間通りに移動できることを期待する、計画的、時間が読めるようになるとする意見	158件
(47) 時間短縮を求める、時間の短縮を期待する意見	182件
(48) 早く着く、最短で行けるルートにしてほしい、可能な限り直線的で距離の短い、効率の良いルートにしてほしいとする意見	81件
(49) 歩く機会の増加によるメタボ・運動不足解消等を期待する意見	105件
(50) 定時性の向上等により、時間の有効活用が可能となる、うちな一タイムも改善される	21件
(51) 生活が変わる、移動中に読書が出来たり、生活スタイルが変わる、変化が期待できるとする意見	18件

STEP4までに検討した内容を改めて丁寧の説明すべき事項

(2) 鉄軌道の導入により、以下の効果は期待できるのか、又は負の影響は生じないのか

・県民及び観光客全ての移動利便性向上に資することは可能なのか

・交通の改善・充実、定時性及び速達性の確保は可能なのか

・ライフスタイルの変化も期待できる程の利便性が得られるのか

対策案に期待する効果・影響に関する意見

3. 交通渋滞緩和に関する意見

(52) 自家用車利用の減少が期待できる、車社会からの脱却、車を利用せずに移動ができるようになる、車に頼らない生活が可能となるとする意見	227件
(53) レンタカーの減少が期待される、レンタカーの減少により交通渋滞の緩和にも資するとする意見	33件
(54) 自家用車に係るガソリン等維持費の軽減が図られる、自動車の保有台数を減らすことができるとする意見	23件
(55) 渋滞の解消を期待する・求める意見、交通渋滞が緩和され、交通量が少なくスムーズな移動が期待できるとする意見、交通量が多く渋滞緩和に効果の高い箇所を経由するルートにしてほしいとする意見	1,011件
(56) 車が減り、排気ガス等の削減が期待できる、環境にも良いとする意見	132件
(57) 渋滞緩和による経済的ロスは大きい、課題である、渋滞緩和による経済的ロスの解消を求める、期待する意見	11件
(58) 車社会であるため結局は自動車を利用するのではないかと、駅の数も限られており、公共交通を乗り継いでまで鉄軌道を利用するかは疑問、現実的には車依存型社会が続く、車での移動で十分とする意見	487件
(59) 観光客は、荷物多く、また複数箇所訪問するため、レンタカーから利用転換しないのではないかと、利便的にはレンタカーの方が良いのではないかとする意見	30件
(60) 渋滞は解消されるのか、渋滞解消に資さないのではないかと、鉄軌道だけでは渋滞は解消しないのではないかとする意見 など	47件

4. まちづくりに関する意見

(61) まちづくりが行われることにより、駅周辺が活性化し、賑わいが創出されることを期待する、地域の開発計画・ビジョンを踏まえた開発を求める意見	40件
(62) 駐留軍用地跡地の活性化にも資するよう配慮してほしいとする意見 など	13件

STEP4までに検討した内容を改めて丁寧の説明すべき事項

(2)鉄軌道の導入により、以下の効果は期待できるのか、又は負の影響は生じないのか

・渋滞緩和や経済的負担の軽減、CO2削減、騒音の減少、経済的ロスの解消、交通事故の減少等に資するのか

・車社会であるため、自動車利用からの転換は厳しいのではないかと

・駐留軍用地跡地を含め地域のまちづくりに寄与するのか

対策案検討にあたり配慮・留意を求める意見

1. 構造に関する意見

(63)コスト縮減や用地確保等の観点から、国道58号といった既設道路(高速道路を除く)の活用が良いのではとする意見	29件
(64)コスト縮減や用地確保等の観点から、高速道路の活用、高速道路沿いへの導入を求める意見	22件
(65)コスト縮減や用地確保、車窓からの眺め等の観点から高架構造による整備、道路への高架構造による導入を求める意見	37件
(県民会議共通意見)	
(66)観光の面で、魅力的な鉄軌道づくりが必要である。観光客に目で楽しんでもらう区間などを検討した方がよいとする意見。	1件
(67)用地確保、有事や自然災害への対応、景観、気象等の観点から地下構造、既存道路への地下構造による整備を求める意見	179件
(68)車窓からの眺め、コストや不発弾、安全面等の観点から地下構造は良くない、懸念される、できるだけ地下区間を短くしてほしいとする意見	106件
(69)コスト縮減や景観、交通弱者等の利便性の観点等から、地平構造が良いとする意見	11件
(関係機関等意見交換会意見)	
(70)那覇～糸満間は、道路を拡幅しているが、それを考慮して地平に設置すれば、コスト削減できるのではないか。	1件
(関係機関等意見交換会意見)	
(71)LRTでも専用軌道であれば、時速60～65kmで営業している事業者もあり、この場合、地平構造でも那覇～瑞慶覧あたりまでの約25kmを20分前後で結ぶことができる。線路構造のあり方も柔軟に検討してほしい。	1件
(72)踏切は避けた方が良い、踏切による渋滞、事故等の観点から踏切のある構造(地平構造)、路面はやめた方が良いとする意見	13件
(73)用地確保等の観点から軍用地跡地の活用、軍用地の返還又は一部使用による整備を求める意見	40件
(74)観光振興の観点、用地確保、自動車交通への影響等の観点から海上への導入を求める意見	14件
(75)道路の車線減少は避けてほしい、自動車交通への影響が生じるような導入は避けてほしいとする意見	48件

2. 需要確保に関する意見

(76)利用者が本当に見込めるか不安、観光客を今後も維持できるのか、安定的に需要を確保できるのか心配とする意見	146件
(77)需要増にむけ、利用促進等に向けた取組等を求める意見	32件

計画段階以降に検討すべき課題

(3)今後、構造については、コスト縮減、用地確保、自然災害や不発弾への対応、自動車交通への影響、車窓からの眺め、構造物設置による景観への影響等の観点から、どのように検討を行っていくのか、配慮可能なのか

(4)需要を安定的に確保することは可能なのか

対策案検討にあたり配慮・留意を求める意見

3. 採算性に関する意見

(78) 需要が多く確保でき、採算性の確保が可能なものにしてほしい、黒字転換が可能なルートにしてほしい、維持してほしいとする意見	497件
(関係機関等意見交換会意見)	
(79) 公共交通の使命は、安全輸送を確保し、低廉な料金で定時性の高いサービスを長期的に提供することであり、そのためには採算性の確保が重要である。	1件
(80) 主要都市といった人口の多い都市、集客施設が集積するところ等、需要が見込まれる地域、ポテンシャルの高い地域に通してほしいとする意見	143件
(81) 赤字でも導入してほしい、沖縄の場合、赤字は仕方ない、赤字でも社会インフラとして、福祉政策として整備してほしい。	46件
(82) 採算は取れないのではないかと、採算性は取れない、厳しいとする意見	70件
(83) 採算性が心配、県民の負担とならないか、県民の負担増とならないかを懸念する意見	591件
(関係機関等意見交換会意見)	
(84) 採算性の観点から、行政による財政支援、まちづくり等の利用環境整備等の支援は重要である。	1件
(85) 採算性を確保するためには上下分離方式で整備すべき、上下分離方式で対応すべきとする意見	34件

4. 費用対効果に関する意見

(86) 便益の高い方が良く、費用対効果を考慮して検討すべきとの意見	27件
(87) B/Cが1を下回るようであれば、事業をやめるべきではないか、費用にみあった効果・利益が得られるか疑問、懸念されるとする意見	30件
(88) バス・モノレール・タクシー業者、沖縄自動車道、道の駅など、既存の交通事業者の経営への影響を懸念する、共存の観点から既存交通事業者との連携を求める意見	405件
(89) B/Cの数値のみの評価ではなく、社会インフラとしての機能、効果を踏まえ考えるべきでないかという意見 など	3件

5. 事業費及び事業期間に関する意見

(90) 早期完成、安価で整備できるルートにしてほしいとする意見	79件
(91) 事業費が高い、工期が長いとする意見、もっと増えるのでは、財源が心配とする意見	611件
(92) コスト削減を求める意見、工期短縮を求める意見	213件
(93) 塩害に考慮したルートを求める意見、ランニングコストの低減、塩害対策等も含めたランニングにも留意した検討等を求める意見 など	25件

計画段階以降に検討すべき課題

(5) 採算は本当に取れるのか、後々県民の負担とならないか

(6) 費用に見合った効果は得られるのか、効果を上げるため、既存交通事業者とも連携を図る必要があるのではないか

(7) 工期短縮、工事費及びランニングコストの削減に向けて、どう対応するのか

対策案検討にあたり配慮・留意を求める意見

6. 地形・地盤、自動車交通への影響、耐災害性に関する意見

(94) 津波や台風、地震等への影響を考慮したルートにしてほしいとする意見	4件
(95) 台風、地震、津波等自然災害による影響を懸念する、災害等への対策を求める意見	120件
(96) 用地確保に不安があるとする、立ち退き等地域への影響を懸念する意見	266件
(97) 工事中の交通規制、交通渋滞を懸念する、適切な配慮を求める意見	312件
(98) 工事の安全な実施、安全な構造物の建設を求める意見	57件
(99) 不発弾による影響を懸念する、不発弾があるため地下トンネル工事は難しいのではないかと、工事前の磁気探査を求める意見	209件
(100) 米軍基地への導入許可の可否、安全性、事故等の際の立ち入り制限、ヘリ等による危険性等の観点から米軍基地内への導入を懸念する意見	205件
(101) 石灰岩や断層等地形について懸念がある、地下への整備が懸念される、整備は可能なのか、ルートによって異なるのかとする意見	76件

7. 自然環境・生活環境・景観に関する意見

(102) 環境、自然を残してほしい、自然に配慮してほしい、環境に配慮した整備を求める、自然環境に配慮したルートを求める意見(環境影響低減を求める意見)	1,344件
(103) 自然や景観等を破壊するのは反対、導入したら自然が壊れるとする意見(事業中止を求める意見)	74件
(104) 工事中及び公共交通運行に伴う騒音への影響を懸念する、又は影響低減、配慮、対策を求める意見	234件
(105) CO2削減等を求める、事業実施に伴う排気ガスを懸念する意見	10件
(106) 構造物設置に伴う景観(まちや周辺環境)への影響、配慮を求める意見	120件
(107) 車窓からの眺めへの配慮、眺めの良い環境を求める、海沿いルートを求める、沖縄の景色を楽しめるルートを求める意見 など	163件

ルート選定に関する意見

(108) 県民又は観光客の誰を重視するのか分からない、ターゲットを明確化すべきとする意見	57件
(109) 一つの視点だけでなく、幅広い観点で、メリットやデメリットを踏まえ、バランスを見て総合的に、よく考えて選定してほしい。	61件
(市町村会議意見) (110) 延伸については、採算が取れないとのことで不可となっているということであれば、採算が合わない案は、ステップ4の段階で落とされると認識していいか	1件
(111) ルートから外れた地域からは不満は出ると思うが、それはどのルートを選んでも同じなので、しっかり進めてほしい、沖縄にとってよりよい案を選定してほしいとする意見 など	10件

計画段階以降に検討すべき課題

(8) 事業実施にあたり、災害への対応、用地確保、自動車交通への影響、不発弾・地盤等について、対応可能なのか、どう対応するのか

(9) 自然環境や生活環境、構造物設置に伴う景観への影響や車窓からの眺め等について、配慮は可能なのか、影響低減に向けて今後、どのように検討を行っていくのか

一つの視点だけでなく、幅広い視点で、総合的観点から選定してほしいとする意見

比較評価結果に対する質問・疑問

1. 比較評価結果全体に関する意見

(112) 結果全体に対し、疑問がある、あまい、楽観的、予測は確実なのか？とする意見	65件
(113) 予測の根拠や算出方法等について知りたいとする意見	5件
(114) 比較評価結果に対するその他意見(しっかりと検証を行うことが必要。しっかりと進めてほしい、慎重に対応してほしいとする意見等)	17件
(115) 物流や、他交通機関との結節等踏まえた視点での評価等も行うべきとする意見	15件

2. 構造に関する意見

(116) ルートの詳細が知りたい、具体的にどこを通るのかわからないとする意見	87件
(117) 構造はどう設定したのか、この設定はありきなのかといった構造想定を考え方を聞きたいとする意見	25件
(118) 高速道路は何故活用できないのか、部分的にも活用できないのかとする意見	7件
(119) トンネル等構造に対する評価がわからないとする意見	2件

3. 事業の効果・影響に関する意見

(120) 所要時間は算出方法、停車駅の考え方、自動車との比較を行わなかった理由も含め検討方法、各地域及び各観光地への所要時間について知りたい、とする意見 (県民会議共通意見)	27件
(121) 県民は自動車利用に慣れているので、整備なしの所要時間は、バスやモノレールのサービス水準の高くない現在の公共交通ではなく、自家用車・レンタカーで移動した場合と比較した方がわかりやすい。	1件
(122) 移動圏域人口の算出方法等何を示しているのかわからないとする意見 (県民会議共通意見)	2件
(123) 「60分で移動可能な圏域内人口」で評価を行っているが、説明がないと理解できない。	1件
(124) 地域間交流人口について、どの程度増えていくのかわかりたいとする意見	2件
(125) 外出機会が増えることにより、歩く機会が増加することにより、健康面にどのように効果があるのかわかりたいとする意見	4件
(126) 利用者数等の試算の前提条件となるサービスレベル(運賃、運行本数、所要時間、駅数、駅位置)について聞きたいとする意見	258件
(127) 利用者数等の試算の前提条件となる定住人口及び観光客数等について聞きたいとする意見や駅が出来た後の人口変動を踏まえた、他交通機関との連携も踏まえた予測を行べきではないかとする意見	29件
(128) 鉄軌道や公共交通利用者(具体的な内訳含む)の目的別内訳について聞きたい、ルート毎の利用者数の違いについて知りたい、予測通りの需要を見込めるのかとする意見	70件
(129) 利用者について、ゆいレールといった他事例を参考に示してほしいとする意見	1件
(130) どの程度渋滞緩和するのか具体的な効果を知りたい、どれぐらいの人が公共交通に転換するのか、潜在需要を調査すべきとする意見 (県民会議共通意見)	36件
(131) 自動車から公共交通への転換量は、どのようにして算出したのか。	1件
(132) 自動車から公共交通への転換量はどのように算出したのかわからないとする意見	5件
(133) まちづくりに対する具体的効果がわからないとする意見	3件

STEP4までに検討した内容を改めて丁寧に説明すべき事項

- (10) 評価結果及び予測結果は正しいのか、検証を行う必要があるのではないか
- (11) 物流や他交通機関との結節も考慮した評価が必要ではないか
- (12) ルートの詳細、具体的場所を示してほしい
- (13) 構造はどのように想定したのか、構造はどのように評価したのか
- (14) 高速道路は何故活用できないのか
- (15) 所要時間のどのように算出したのか、停車駅等はどう設定したのか
- (16) 移動圏域人口をどのように算出し、その結果は何を表しているのか
- (17) 地域間交流人口は、どの程度増えるのか
- (19) 需要予測では、人口や観光客数をどのように設定したのか。鉄軌道導入による人口変化も考慮したのか
- (20) 需要予測では、運賃等のサービスレベルをどのように設定したのか
- (21) 利用者数の内訳はどうなっているか、結果がルートによって大きく異なるのは何故か
- (22) 公共交通への利用転換量はどのように試算したのか、試算結果からどの程度の渋滞緩和効果が期待できるのか
- (23) まちづくりへの具体的効果について

STEP4において改めて検討すべき事項

- (18) 外出機会の増加は、健康面でどのような効果があるのか

比較評価結果に対する質問・疑問

4. 採算性に関する意見

(134) 採算性の算出方法、経費の内訳等が知りたい、	34件
(135) 上下分離方式と上下一体方式について、違いがわからない、何が違うのか、何故黒字転換しないのかわからないとする意見	34件
(136) 採算性の試算結果はどうなっているのか、正確に評価したのか、どうしてこんなに黒字転換しないのかわからない、ルートによって何故結果に大きな差が生じるのかわからないとする意見	66件

5. 費用対効果分析に関する意見

(137) 費用対効果の算出方法・計測項目がわかりづらい、CO2削減効果などの程度の効果が、経済効果はどの程度あるのか聞きたいとする意見	40件
--	-----

6. 事業性に関する意見

(138) 工事費とその算出根拠について聞きたい、本当にこの費用で大丈夫なのか、ルートによって大きく異なる理由について聞きたいとする意見	74件
(139) 工事費はゆいレールと同程度なのか、工事比較があるとわかりやすいとする意見	2件
(140) 工期はどの程度か、いつ完成するか聞きたい、本当にこの工期で完成するのか、米軍との協議期間の取扱い等、工期の算出方法について聞きたいとする意見	216件

7. その他

(141) 鉄軌道とは何を指すのか	12件
-------------------	-----

STEP4までに検討した内容を改めて丁寧に説明すべき事項

- (24) 採算性分析では、経費等をどのように見込んで算出したのか
- (25) 上下分離方式と上下一体方式はどう違うのか
- (26) 黒字転換年がルートによって大きく異なるのは何故か
- (27) 費用便益分析は、何をどのように計測しているのか、経済効果はどの程度あるのか
- (28) 事業費は、どのように算出したのか、またルートによって結果が大きく異なるのは何故か、またゆいレールとの比較について
- (29) 工期はどのように算出したのか
- (30) 鉄軌道とは何を指すのか

基幹軸の整備に関する意見

(142) 是非実現してほしい、できるだけ早く整備(着工)してほしいとする意見	3,016件
(143) 鉄道が無いのは沖縄だけ、本土と同じように整備してほしいとする意見	45件
(144) 必要性を感じない、必要無いのではないかと必要あるのか？とする意見	223件
(145) 鉄軌道は必要無い、要らないとする意見	578件
(146) 事業費や工期が多く・長くかかるなら、採算性が厳しいのなら、環境等に影響が生じるので要らないのではないかとする意見	113件
(147) 道路整備又はバスの利便性向上・充実を図ることで足りる、まずは、道路整備、バスの利便性を向上させることが重要ではないか、モノレールや既存バス等既存ストックの活用で十分とする意見	320件
(148) 鉄軌道は実現可能性がないのではないかと、事業規模等から実現は厳しいのではないかとする意見	236件
(149) 小さな沖縄に必要無いのではないかと、鉄道ができればもっと狭くなるのではないかとする意見	91件
(150) モノレールの延伸で十分ではないかとする意見	など 362件

STEP4までに検討した内容を改めて丁寧に説明すべき事項

- (31) 整備の可否はいつ、どのように判断されるのか

2-3 比較評価結果に対する技術的観点からの総括

○ 比較評価結果に関する意見については、「比較対象に関する意見」、「比較評価結果全体に関する意見」、「対策案に期待する効果・影響に関する意見」、「対策案検討にあたり配慮・留意を求める意見」、「比較評価結果に対する質問・疑問等意見」、「基幹軸の整備に関する意見」、「ルート選定に関する意見」の7つに分類された。

- ・ 「比較評価結果全体に関する意見」では、
 - ・ 特定の案等を良いとする又は否定する意見やいずれの案も一長一短あるとする意見等、評価結果を踏まえたルート案に対する個人的意見
 - ・ 良いと思う、いずれの案も良いとする意見や様々な項目に基づく評価がなされている、わかりやすい、難しい、わからないとする意見等、評価結果の内容に関する意見が寄せられた。
- ・ 「対策案の効果・影響に関する意見」では、対策案に対し、鉄軌道を導入することによるストロー現象を懸念する意見や、結局は自動車利用するのではないか、公共交通を乗り継いで鉄軌道を利用するかは疑問であるとする意見もあったが、
 - ・ 沖縄振興、地域の活性化や広域的な地域圏の形成、圏域間連携の強化を期待する意見
 - ・ 県民や観光客の移動利便性の向上や渋滞緩和、まちづくりへの寄与を期待する意見等が寄せられた。
- ・ さらに、「対策案検討にあたり配慮・留意を求める意見」では、
 - ・ 用地費確保やコスト削減、災害への対応、景観への配慮等の観点から、地下又は高架等の構造を求める意見
 - ・ 安定的な需要確保や、採算性、費用対効果、事業費等の事業性を懸念する意見
 - ・ 地盤上の課題や不発弾への対応、工事中の自動車交通への影響等、施工上の課題を懸念する意見
 - ・ 自然環境や生活環境、景観や車窓からの眺めに対し配慮を求める意見等が寄せられた。

また、「比較評価結果に対する質問・疑問等意見」では、予測結果に疑問がある、あいまいといった意見や、定量的評価の算出方法やルート毎の評価結果の違いに対する質問等が寄せられ、「ルート選定に関する意見」については、県民と観光客のいずれを重視するのかターゲットを明確化すべきとする意見や、幅広い視点で検討し、総合的に判断してほしいとする意見などが寄せられた。

○ これら、県民等から寄せられた意見については、「検討結果の内容の確認に関する事項」を抽出して3つの視点で整理し、検討過程や前提条件等、検討の詳細についてとりまとめるとともに、今後の検討課題を抽出・整理し、あらためて検討が必要な事項については、検討を行い、これら対応結果を資料5-2にとりまとめた。

● 以上より、比較評価結果については、多くの意見が寄せられたが、理由を明確に示し、評価結果を否定・疑問視する意見はなかったこと、また、県民から寄せられた質問・疑問、配慮・留意を求める意見等については、技術的観点から検討及び整理を行い対応を示したことから、ステップ5では、当該評価結果に基づき選定を行っていくものとする。

なお、ステップ5における選定にあたっては、導入効果のみならず比較評価で示した配慮事項等にも留意しつつ検討を行うものとする。

併せて、ルートや構造、システム等について具体的検討を行う計画段階以降においては、比較評価結果で示した配慮事項や資料5-2で示した今後の検討にあたっての対応方針等に基づき、幅広く検討を行っていくことが必要である。

● 寄せられた質問や疑問に対する回答については、ホームページに掲載するとともに、市町村窓口を設置したり、協力いただいた高等学校等へ配布する等幅広く情報提供していく必要がある。

3 ルート案に関する意見

3-1 ルート案に関する意見及び各委員会での対応について

ルートに関する意見を踏まえ検討、意見への対応を行う委員会		
技術検討委員会	計画検討委員会	プロセス運営委員会
○	○	

那覇一名護区間におけるルートの付加を求める意見

(151) 環状化等、様々な地域に行くことができる案、部分的に周遊可能な案を求める意見	72件
(152) 西海岸～東海岸(連携強化)を横断を可能にするため、横断するルートの付加を求める意見	9件
(153) 東西両方の利便性をあげるため、提案しているルート案を東西に2本通すべき、又は、中部から北部にかけて分岐すべき、58号と330号両方通すべきとする意見	131件
(154) 提案しているルート案について、複数路線(3ルート以上)、全路線通すべきとする意見	62件
(155) 経由地以外の特定の地域を経由する新たなルート案を求める、別ルート案を求める意見	など 241件

名護以北や南部への延伸を求める意見

(156) 本島概ねの地域を経由すべき、国頭から糸満まで整備すべきとする意見	520件
(157) 美ら海水族館のある本部町や国頭等、名護以北への延伸を求める意見	536件
(158) 人口が増加していて、観光地も多い南部地域へ延伸してほしいとする意見	1,728件
(市町村会議意見)	
(159) 豊見城市としては、糸満市までの区間は延伸ではなく、もともとあったものが削られたとの認識である。	など 1件

ルート延伸等検討結果に対する疑問・質問

(160) 人口が増加している南部について、採算が取れないのは疑問であるとする意見	11件
(161) 那覇一糸満間の事業費について、道路の拡幅工事等の計画が考慮されていないとする意見(事業費が過大ではないとする意見)	1件
(162) 那覇一糸満と同様、恩納一名護についても区間で評価すべきではないか、那覇一糸満間だけ区間で見るのは公平性に欠けるとする意見	2件
(市町村会議意見)	
(163) 南部は自動車交通量も多いが、需要予測に反映されているのか、需要予測の再現結果、交通量の推計結果を示して欲しい。	1件
(164) 今回、南部への延伸区間については、採算性の低下を招くということで除外されている。各ルート案は骨格軸全体で評価するのに対し、延伸の可否については、延伸部分のみで評価して判断するのは公平性に欠けるのではないか。	1件
(関係機関等意見交換会意見)	
(165) 延伸に伴う赤字は骨格軸に吸収(全体としての評価)してもよいのではないか。	1件
(166) 起終点は何故、那覇と名護となっているのか	など 13件

STEP4において改めて検討すべき事項

(32) 人口が増加している南部で何故採算が取れないのか

STEP4までに検討した内容を改めて丁寧に説明すべき事項

(33) 起終点は何故那覇と名護となっているのか、(延伸のみでなく、骨格軸全体で評価すべきではないか)

3-2 ルート案に対する技術的観点からの総括

- ルート案については、
 - ・提示したルート案について、複数路線の整備を求める意見や、経由地以外の居住地等特定地域を経由する新たなルートを求める意見
 - ・移動利便性の観点等から本島概ねの地域を経由すべき、国頭から糸満まで整備すべきとする意見
 - ・観光客の利便性や渋滞緩和等の観点から北部や南部への延伸を求める意見などが寄せられた。
- さらに、疑問・質問として、人口が増加している南部について、採算が取れないのは疑問であるとする等の意見が寄せられた。
- ルート案については、延伸等を求める意見が多く寄せられたところであるが、フィーダー交通の中でも特に需要の多かった糸満方面、与那原方面への延伸の可能性について検討を行ったところ、いずれの延伸区間も採算が取れず、骨格軸の採算性の低下を招くとの結果が得られたところである。
- 骨格軸については、沖縄21世紀ビジョンで示された沖縄の将来の姿の実現等の観点から求められる「那覇と北部圏域の中心都市である名護を1時間で結ぶ公共交通軸の構築による圏域間連携の強化」など、公共交通の役割を踏まえるとともに、県民から寄せられた、公共交通が持続的に役割を果たすために重要となる採算性についても考慮しながら検討を進めてきたところである。
- 骨格軸が安定的・持続的に高いサービス水準を維持し、公共交通の役割が持続的に果たされるためには、採算性の確保が重要な視点であることから、ルート案については、那覇と名護を起終点として検討を進めるものとする。
しかし、今後、公共交通の利用環境改善等による利用促進が図られ、県民のライフスタイルが変化し、公共交通の需要が増加することも考えられることから、将来的には、鉄軌道の延伸等について、公共交通の利用状況や地域のニーズ等を踏まえ、検討していく必要があると考える。
また、計画段階以降は、鉄軌道沿線のみならず、全ての地域が鉄軌道の利便性を享受できるよう、フィーダー交通の充実に向け、地域や交通事業者等と連携して検討を行っていく必要がある。

4 鉄軌道導入とあわせて今後必要な取組について

4-1 鉄軌道導入とあわせて今後必要な取組に関する意見及び各委員会での対応について

今後必要な取組に関する意見を踏まえ検討・意見への対応を行う委員会		
技術検討委員会	計画検討委員会	プロセス運営委員会
○	○	○

駅周辺のまちづくりを求める意見

駅周辺に無料または割安な駐車場、駐輪場、レンタカーステーション等を整備し、誰もが鉄軌道を利用しやすいようにしてほしいとする意見 (県民会議共通意見)	664件
駅の近くに車、自転車を止められる駐車場及び駐輪場が必要。	1件
駅周辺には交通弱者等を含め誰もがバス等との乗り継ぎがスムーズに行えるように、バスプールやタクシーの乗降場等交通広場の整備を行ってほしいとする意見 (県民会議共通意見)	141件
駅や乗り継ぎ施設は、暑さ対策、雨対策が必要。	1件
魅力的な駅づくり、駅内の機能(喫煙所やトイレ、待合所、Wi-Fi等)の充実を求める意見、駅周辺開発による賑わいの場の形成、駅周辺の商業施設や保育園等様々な施設の立地促進、地域にあった駅周辺開発を求める意見	786件
歩きやすい、住みよいまちづくり、緑化等によるきれいなまちづくりを求める意見	76件
小さな子供やお年寄りにもやさしい、バリアフリーのまち、施設整備を求める意見	21件
まちづくりに住民も参画できる仕組みを作してほしい、参画したいとする意見 (県民会議共通意見)	22件
住民参加型の市町村での公共交通に関する取組、駅周辺のまちづくりの推進が必要。	1件
駅周辺のまちづくり等にあたっては、市町村や地域による主体的取組が必要	42件
など	

公共交通の利用環境改善に向けた取組を求める意見

バス停の上屋整備、時刻表等の外国語表記等、公共交通の利用環境の改善等バスの利便性向上、公共交通の利便性向上を求める意見	131件
鉄軌道導入までは、まずは、バスの充実を図るべきとする意見	41件
ゆいレールの車両数や運行本数の増加等、ゆいレールの利便性向上を求める意見	65件
鉄軌道へのICカードの導入を求める、OKICAのSuica等との互換性や商業施設等での利用等が可能となるよう拡張等利便性向上を求める意見 (県民会議共通意見)	451件
全国で利用できるSuica、ICOCA等のICカードが使えるようにする。観光客も便利になる。	1件
お年寄りや外国人でも利用しやすいように、乗り方やバス路線をわかりやすくしてほしい、路線や時刻を簡単に検索できるように、乗り換えが簡単にできるようにしてほしい、駅の案内をわかりやすくしてほしいとする意見	153件
公共交通の運賃を安くしてほしい、公共交通運賃の学割、シルバー割、乗り継ぎ割引等の設定等、運賃の低減を図ってほしい。車移動に慣れた県民や学生等の利用促進には運賃の低減が重要とする意見	1,126件
高齢者や障害者、観光客等全ての人が乗りやすい、利用しやすいようバス停や駅、車両等のユニバーサルデザインを求める意見 (県民会議共通意見)	181件
子どもや車いすの方も一人で切符を買えたり、乗り降りできたり、誰でも利用しやすいユニバーサルデザインに対応した駅や、車両、駅から学校や病院へのアクセスの整備が重要。	1件
バスも含めた公共交通の定時性を確保することが重要	149件
安全安心でテロ等の事件や事故の無い公共交通を求める、鉄軌道の踏切事故やホームからの転落事故等を懸念する、事件・事故防止を求める意見	318件
など	

県民意識の醸成等利用促進に向けた取組を求める意見

マイカーとのすみ分け、公共交通利用に対する県民意識の醸成等が重要といった、車社会からの脱却、車を利用しないでも生活できる社会となるような取組を求める意見、公共交通の利用促進に向けた取組を求める意見 (関係機関等意見交換会意見)	241件
鉄軌道が開業するまでは、全国一と言われる那覇市内の渋滞等の問題を解決していくために、車に頼らない社会づくりも進めていく必要がある。	1件
個人として鉄軌道ができれば利用したい又は積極的に利用したい、公共交通を意識して利用していきたい、渋滞緩和に向けて協力したとする意見	664件
早期の運転免許の返上、都市部への車の乗り入れ制限など自動車利用を制限、減少させる取組を求める意見	47件
公共交通利用にあたってのマナー教育、乗り方教室等の実施や利用方法の周知が必要 (関係機関等意見交換会意見)	165件
今の子ども達も含めて、公共交通に関するリテラシー教育をもっと増やしてほしい。	1件
公共交通のイメージアップやゆるキャラの作成等、広報活動を通して利用促進を求める意見	131件
通勤手当の支給やお試し乗車券の配布等、公共交通を利用する人にメリットとなるような取組を行う必要があるとする意見 など	46件

フィーダー交通の充実、ネットワークの構築を求める意見

鉄軌道とバス、コミュニティバス等との連携を図り、様々な地域、特定施設に移動しやすいネットワークの構築を求める意見、駅周辺の方がだけでなく、広く県民が恩恵を受けようにしてほしいとする意見	896件
バスの便数増・バス路線の追加、バス停の追加等、既存公共交通の充実を求める意見	186件
長距離路線の見直し、支線化等バスの再編を求める意見 (市町村会議意見)	39件
南部地域は交通量が増加しているが、これまでモノレールや基幹バス等の検討は那覇以北のみであり、南部地域の公共交通についても検討してほしい。 (県民会議共通意見)	1件
フィーダー交通の整備が重要だと考える。	1件
LRTの導入、特定の地域へのLRT導入を求める意見	36件
ゆいレールの活用、特定の地域へのゆいレールの延伸・充実を求める意見	82件
BRT、コミュニティバス、バイクシェアリング等、地域にLRTを除く新たなシステムの導入を求める意見、需要に応じた交通手段を求める意見	56件
その他システム等に関する意見 など	4件

将来像実現に向けて公共交通以外で取り組むべきこと

公共交通の整備だけでなく自転車専用道路、歩道の整備などを求める意見	33件
公共交通の整備だけでなく既存道路の拡幅・改良・充実、新たな道路整備などを求める意見	105件
遊園地などの娯楽施設を増やしてほしい	80件
鉄軌道と連携した観光メニューの充実、観光客がゆっくり滞在できる施設の確保等、観光振興に関する取組を求める意見 など	73件

4-2 鉄軌道の導入とあわせて今後必要な取組に対する技術的観点からの総括

○ 今後必要な取組については、「駅周辺のまちづくり」、「公共交通の利用環境改善」、「県民意識の醸成」、「フィーダー交通の充実、ネットワークの構築」などの取組を求める様々な意見が寄せられた。

・ 「駅周辺のまちづくり」に関しては、

- ・ 駅周辺に無料または割安な駐車場、駐輪場、レンタカーステーション等を整備し、誰もが利用しやすいようにしてほしいとする意見
- ・ 駅周辺には交通弱者等含め誰もがバス等との乗り継ぎがスムーズに行えるようバスプールやタクシーの乗降場等交通広場の整備を行ってほしいとする意見
- ・ 魅力的な駅づくり、駅周辺開発による賑わいの場の形成、駅周辺の商業施設や保育園等様々な施設の立地促進、地域にあった駅周辺開発を求める意見

などが寄せられ、さらに、まちづくりに住民も参画できる仕組みを作ってほしい、参画したいとする意見が寄せられた。

・ 「公共交通の利用環境改善」及び「県民意識の醸成」に関しては、

- ・ お年寄りや外国人でも利用できるよう、乗り方や行き先がわかるようバス路線をわかりやすくしてほしい、路線や時刻を簡単に検索できるように、乗り換えが簡単にできるようにしてほしいとする意見
- ・ 公共交通の運賃を安くしてほしい、公共交通運賃の学割、シルバー割、乗り継ぎ割引等の設定等、運賃の低減を図ってほしいとする意見
- ・ 鉄軌道ができれば利用したい、公共交通を意識して利用していきたいとする意見
- ・ 公共交通のイメージアップやゆるキャラの作成等、広報活動を通して利用促進を求める意見

などが寄せられた。

・ 「フィーダー交通の充実、ネットワークの構築」に関しては、

- ・ 県内どこにでも楽に移動できるようにしてほしい、鉄軌道とバス、コミュニティバス等との連携を図り、様々な地域に移動しやすいネットワーク構築を求める意見、広く県民が鉄軌道の恩恵を受けられるようにしてほしいとする意見
- ・ 長距離路線バスの見直し、支線化等バスの再編を求める意見

などが寄せられた。

● 県民からは、鉄軌道導入とあわせて今後必要な取組として、まちづくりや公共交通の利用促進等に関し、具体的な取組が提案されたことから、今後は、現在進めている利用環境改善に向けた取組を着実に実施するとともに、計画段階以降は、寄せられた意見も踏まえ、市町村や交通事業者等と連携して、まちづくりのあり方やフィーダー交通との連携のあり方等について幅広く検討を行っていく必要がある。

さらに、各取組にあたっては、可能な限り地域住民の意見も取り入れながら検討を行っていくことが求められていることから、これら意見については、まちづくりの主体である市町村とも情報共有を図り、今後の検討につなげていく必要がある。